

# あなたと議会



2015  
188号  
9月25日発行

**特集 議会閉会中の継続調査が  
まとまりました。**

市政を問う  
議会からあなたへ

今回の定例会  
の内容は、第4回定  
例会(平成27年7月  
17日~8月7日)  
です。



常楽寺(録事尊)の彼岸花(下粕尾)



# の継続調査が まとまりました。

します。

会中の継続調査付託を議決しました。常任委員会自ら  
ねてきましたが、このたび調査結果がまとまり議長に  
月7日の本会議において各委員長が報告をしました。



## 総務常任委員会

### 〈人口対策について〉(要旨)

日本は2008年をピークに人口減少に転じ、これから本格的な人口減少社会に突入し、このまま何も手を打たなければ、2010年に1億2806万人あった日本の総人口は、2050年には9708万人となり、今世紀末の2100年には4959万人とわずか100年たらずで約40%、明治時代の水準まで急減すると推計されています。「人口減少」という、これまで経験したことのない問題に立ち向かうことになります。

当委員会では、まず現状を知り、委員が問題意識を共有することから始めました。その上で、「定住促進」「子育て支援」「雇用促進」の3つの視点より調査を進めていくことになりました。

継続調査を進めてみて、人口対策については、「定住促進」「子育て支援」「雇用促進」その他の施策も含め、総合的に関連しており、所管する部門が多岐に亘るため、各部門が連携を密にすることが非常に重要と考えました。今年4月に市長を本部長とする「鹿沼市総合政策推進本部」が設置されましたが、同本部が各部門間の連携を強化し、効果的な施策を推進することを望みます。また、鹿沼市の提唱する若者、高齢者、企業にとって「夢の再チャレンジができるまち」「生涯心豊かに暮らすまち」「全国と世界から“見える”まち」の具現化を達成できる「鹿沼市版総合戦略」の策定を強く望みます。

## 環境経済常任委員会

### 〈公設市場について〉(要旨)

鹿沼市公設地方卸売市場の取扱高の減少に歯止めを掛けること、老朽化した施設の修繕改築策等について、調査研究を行いました。各委員及び執行部、管理会社等から意見聴取、宇都宮中央卸売市場や鹿沼市公設地方卸売市場の現地視察、検証作業等の活動を行い、提言をまとめました。

提言1 経費削減を積極的に行うこと

(不採算部門の廃止、適正な人員配置、小売商への支払奨励金の見直し)

提言2 売上増収策を講じること

(受託品手数料率の改定、直売所の実施)

提言3 老朽化した施設を中長期的な計画を策定し改修修繕を図ること

提言4 施設内の衛生管理を徹底すること

提言5 提言を確実に実行し、利用者及び市民に理解を得られる開かれた公正な市場を目指すこと

## 文教民生常任委員会

### 〈医療費の実態について〉(要旨)

年々医療費が増大し、国民健康保険事業の予算を圧迫し、一般財源からの法定外繰り入れや、国民健康保険料金の値上げを余儀なくされている現状や、本市の人口減少や少子高齢化が今後も確実に続いていくことなども考え合わせ、このような状況下、社会保障とりわけ医療制度である国民健康保険事業が将来にわたり持続可能なものとしていくためにも「医療費支出の実態」を調査し、医療費の伸びが過大にならないようにするために、生活習慣病を予防し健康寿命を伸ばすことが大切であると考え、この調査テーマに挑みました。

担当課からのヒアリング、検証作業等を重ね4つの提言をまとめました。

- 提言1 特定健康診査の受診率向上
- 提言2 各種検診の受診率向上
- 提言3 運動に取り組みやすい環境の整備
- 提言4 運動の効果が測定できる機会の提供

## 建設水道常任委員会

### 〈社会資本の老朽化対策について(社会資本の維持管理・更新・インフラ長寿命化計画)〉(要旨)

全国的に高度成長期に大量に整備された社会資本が更新期を向かえることから、これらの更新費用の確保や長寿命化が課題となっています。平成25年、国も政府全体の取り組みとして、「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、また総務省においても、社会資本を含むすべての公共施設について、「公共施設等総合管理計画」の策定を地方公共団体に要請しています。こうした国の動きを踏まえ、建設水道常任委員会では、「社会資本の老朽化対策」をテーマとして閉会中の継続調査を行ってきました。当常任委員会所管の部署より、道路、橋梁、公園、市営住宅、上水道施設などについて、現状と今後の課題について調査を行いました。これらの調査結果により、5つの提言をまとめました。

- 提言1 維持経費の総量を的確に把握し、平準化及び縮減を図ること
- 提言2 市民協働の仕組みを推進すること
- 提言3 都市建設部直営班の機能強化を図ること
- 提言4 地元事業者との連携強化をすすめること
- 提言5 更新及び新設は低コストで維持経費のかからない整備をすすめること



## 特集

## 議会閉会中

### 1年間の常任委員会の活動の成果をご紹介します

各常任委員会が調査項目を決め、昨年12月に議会閉会が調査テーマを持ち、現地調査、意見聴取、討議を重調査報告を提出しました。また、市への提言として8



# 市政を問う

## 新規就農者対策について伺う



第4回定例会で13人が登壇  
鹿沼市政について質問をしました。



**質問**  
新規就農者に対し、どのような支援をしているのか伺う。

**答 弁 (経済部長)**  
**県、農業団体と連携し新規就農者対策を進めます。**  
就農準備段階に栽培技術等の知識を習得するものとして、栃木県農業大学校が主体となり、年間30日間にわたり基礎的な栽培技術や知識を習得する「とちぎ農業未来塾」や公益財団法人鹿沼市農業公社が年4回にわたり農作業体験を開催する「新規就農者支援農作業体験研修会」をあっせんしております。その他の支援としては、栃木県が農家

への研修生の受け入れを支援するトレーナー制度や、JAの組合員が研修生を受け入れる際に、研修受け入れ先にJAかみつが支援をする新規就農者研修支援事業があります。

就農時以降の財政的な支援としては、市が給付主体となり一定の要件を満たす新規就農者に農業経営を開始してから経営が安定するまでの最長5年間、年間150万円以内を給付する「青年就農給付金経営開始型」があります。今後も栃木県、JAを初めとする農業団体と連携を図りながら、新規就農者対策を進めていきたいと考えています。



▲鹿沼市農業公社の農業体験研修会



移住定住の促進について伺う



**質 問**  
 移住・定住人口の増加につながるPRの在り方、「鹿沼版地域おこし協力隊」の詳細を伺う。  
**答 弁(市長)**  
**多彩な対策を戦略的に推進します。**  
 移住希望者にとって魅力的な地域資源に焦点を当て、それに磨きをかけながら新たな価値を見出し、戦略的にPRすることが重要と考えます。今年度から「鹿沼営業戦略室」を移住・定住に関する情報のワンストップ窓口として、多彩な対策を戦略的に推進することになりました。本市が首都圏にあり、自然豊か

で、災害が少なく、治安もよく安全で健康に暮らせる住みやすいまちとしてのイメージを確立し、市民の皆さんと一緒にPRすることが選ばれる自治体につながると思っています。  
 「鹿沼版地域おこし協力隊」は、本市に移住し、商売を始めたり、伝統産業や農林業の後継者となり、まちづくりに参画しながら「夢の再チャレンジ」、「夢の実現」を目指す人を応援する事業です。その第1弾モデル事業として、屋台のまち中央公園の軽飲食スペースを利用して起業する移住者を市外・栃木県外から募集しているところです。



▲総務部企画課内にある「鹿沼営業戦略室」

「鹿沼市版人口ビジョン」「鹿沼市版総合戦略」「次期総合計画」について伺う



**質 問**  
 「鹿沼版総合戦略」「次期総合計画」に①子育て支援対策の充実②高齢者の社会参加、健康づくり、生きがいづくり促進事業を求めるがどうか。  
**答 弁(市長)**  
**中学3年生までの現物給付実施を検討します。**  
 ①については、本市では現在中学校3年生までの医療費の一部を助成しているところです。現物給付については、厳しい財政事情の中ではありますが、多くの市民の要望も踏まえ平成28年度の実施に向けて検討してまいります。また「鹿沼市子ども・

子育て支援事業計画」に基づき地域型保育事業の拡充や認定こども園への円滑な移行を積極的に支援し、放課後児童健全育成事業の充実を図ります。更にひとり親に対する支援策等も検討したいと考えています。  
 ②については、今年度スタートした「第6期いきいきかぬま長寿計画」に位置づけた事業を推進するとともに、25年を目指した地域包括ケアシステムの構築のための諸施策を検討していきます。また、元気な高齢者が地域の社会資源として活躍していただけるような場を設けていきたいと考えています。

鹿沼市のこども医療費助成制度

年 齢 区 分	平成27年4月1日診療分から	
	栃木県内	栃木県外
小学校就学前	現物給付	償還払い
小学生・中学生	償還払い	



※平成27年3月31日診療分までは、今までの助成方法のとおりです。  
 ※小・中学生の助成方法は変わりません。

小松 英夫 議員

JR鹿沼駅東口の  
整備について伺う



**質 問**  
都市計画道路整備、駅前広場、東西自由通路の進捗状況を伺う。  
**答 弁（都市建設部長）**  
住民の皆様のご理解とご協力は不可欠です。

東口の都市計画道路は2路線あり、鹿沼駅東通りは、古峯原宮通りから市道509号線までの140m区間を第1工区とし、本年11月には舗装工事を発注し、年度内には完了を予定しています。第1工区の北側900m、鹿沼駅裏通りの延長110mは、昨年度道路設計が完了し現在国道293号との交差点に関する協議を進めています。今年度は第1工区の延伸

区間となる第2工区の用地測量、物件補償調査を秋口に着手する予定です。駅前広場や東西自由通路は、昨年度実施した駅利用者実態調査や踏切の交通量調査などを踏まえ、駅周辺の施設整備構想を策定しており、今後は東口の駅前広場の拡張や東西自由通路の設置に関するJR東日本大宮支社との具体的な協議を8月に予定しています。  
地域住民への周知等は、地元自治会を通じ事業説明会の開催や各種通知を行ってまいりました。  
住民の皆様のご理解とご協力は不可欠ですので、引き続き丁寧な対応を心がけてまいります。



▲JR鹿沼駅

小林 充 議員

「鹿沼市版総合戦略」と「人口ビジョン」について伺う



**質 問**  
人口の安定的維持を目指す出生率の明確な目標設定について伺う。  
**答 弁（市長）**  
各種推計を参考に、中・短期的な目標を立てていきます。

国は、2040年までに合計特殊出生率が2.07まで回復した場合、2060年に1億人程度の人口を確保すると見込んでいます。また、栃木県の人口ビジョン骨子案では、2030年に1.90、2040年までに2.07、これは国と同じ数値になりますが、2.07とすることを目標としています。しかし「国立社会保障・人

口問題研究所」の推計では、2060年でも高く見込んで160としており、主要先進国でも最高のフランスで2.00です。本市では、「国立社会保障・人口問題研究所」の推計や栃木県の推計を参考にし、まず10年から20年の中・短期的な目標を立てていきたいと考えています。

「鹿沼市版総合戦略」における人口減少対策は、まずは現行の子育て支援、雇用創出、結婚対策、I・J・Uターン促進策等の継続と見直しを検討するとともに、市民協働による事業展開等の新たな手法も含めた対策を位置づけたいと考えています。

「合計特殊出生率」とは

合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。

**A「期間」合計特殊出生率**  
ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。女性人口の年

齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられています。

**B「コホート」合計特殊出生率**  
ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。「その世代の出生率」です。

塩入 佳子 議員

黒川緑地の活用について伺う



**質 問**  
維持管理の状況、周遊路として府中橋下流、「ふれあい橋」と同様な橋の設置について伺う。

**答 弁（都市建設部長）**  
府中橋下流の遊具を更新する予定です。

黒川緑地は、近隣の5自治会に緑地内の日常的な清掃を委託しています。また、良好な景観を保つため、低木の剪定や除草を年3回、シルバー人材センターに委託しています。そのほか、黒川の洪水時には、通行を制限し、安全を確保するため、「ふれあい橋」の高欄とスロープの撤去・設置を業者に委託しています。な

お、公園長寿命化計画の中で、平成28年度に府中橋下流にある遊具を更新する予定です。

「ふれあい橋」は、市民の要望や緑地利用者の利便性の向上を目的に設置しましたが、低水護岸に設置された橋のため、大雨時には流木やごみ等が橋脚や床板に引っかかり、河川の流れを阻害する治水上課題が多い橋となっています。同様の橋の設置については、河川管理者である栃木県の許可を受けなければなりません。市としても橋が障害物となり、黒川緑地の施設の損傷や流失を防止するためにも、設置の考えはありません。



▲府中橋下流の「ふれあい橋」

大島 久幸 議員

安全安心なまちづくりについて伺う



**質 問**  
防災マップ、避難所の市民への周知徹底について伺う。

**答 弁（総務部長）**  
市民の皆さんの防災意識を高めるための対策に力を入れます。

「鹿沼市防災マップ&マニュアル」は、4万部作成し全世帯に配布するとともに、鹿沼工業団地や木工団地等の企業にも配布したほか、随時、転入者を初め希望者に配布しています。また、広報かぬま6月号に、その活用方法を掲載しました。しかし、どのような啓発資料を作成してPRしても、自らの問題と

して市民の皆さんの意識が高まらなければ活用していただけないものと思います。今後、自主防災会等による訓練・研修等の促進等、市民の皆さんの防災意識を高めていただくための対策に力を入れたいと考えています。

市民の皆さんの避難所に対する認知度についての調査等はこれまで行っていません。本市は、比較的災害が少ないこともあり、関心が低いのではと危惧をしていますが、自主防災会が設置している地域では、防災情報が地域内で共有されていますので、認知度は比較的高いのではないかと思います。



▲全世帯に配布されている「鹿沼市防災マップ&マニュアル」

大貫 毅 議員

鹿沼まるごと博物館  
基本計画について伺う



質 問

鹿沼まるごと博物館基本計画の推進について伺う。

答 弁（教育次長）

市民協働による博物館活動を地域の教育・文化の向上、産業振興に生かします。

本計画は「市民とともに未来を創る博物館」を基本理念とし、「博物館活動の推進」、「博物館活動による教育と学習の充実」、「博物館活動にかかわる施設の活用と整備」、「鹿沼まるごと博物館ネットワークの構築」の基本目標に基づき事業を実施していくものです。これらを継続して実施し、生涯を通じて活躍で

きる個性豊かで創造的な人づくりや子供たちが豊かな人間性をもち、自ら学び考える力を育むための基盤づくりを目指します。

また、点在する地域資源の調査・収集、展示、保存等の博物館活動を市民協働で実施し、地域の教育・文化の向上、産業振興に生かすことを考えています。

地域の特性を生かした博物館活動を行うために、博物館の分館・地域拠点施設として、市民のギャラリーや展示室を位置づけることは大変意義のあることと考えます。今後、デザインや素材の統一を図ったシンボルマークを設定する予定です。



▲「鹿沼まるごと博物館基本計画」

荒井 正行 議員

子育て世帯向けのプレミアム  
ム分の商品券について伺う



質 問

子育て世帯向けのプレミアムム分の商品券の詳細を伺う。

答 弁（保健福祉部長）

9月中の発送を目標にしています。

子育て世帯向けのプレミアムム分の商品券は、子育て世帯への生活支援及び地域における消費喚起を目的に、子育て世帯を対象として交付するものです。交付対象者は、中学生以下の児童を養育する世帯のうち、子育て世帯臨時特例給付金の支給対象者とし、児童1人当たり3千円を児童の養育者に対し、簡易書留郵便で送付する考えです。ゼ

口歳児については、子育て世帯臨時特例給付金の対象児童と同様の平成27年5月31日以前に生まれた児童が対象となります。発送時期は、対象者の拾い出し作業終了予定である9月中の発送を目標としたいと考えています。

鹿沼地域の方には、鹿沼商工会議所の商品券を、栗野地域の方には栗野商工会の商品券を配付する予定ですが、鹿沼分については、全て共通商品券としたと考えています。また、栗野分については、共通商品券と中小店専用商品券の区分はありません。





小島 実 議員

森林施業、施策について伺う



**質 問**  
森林の現状と、対策・改善を図る組織の設立について伺う。

**答 弁**（経済部長）  
策定懇談会を活用し森林荒廃の対策改善を図ります。

森林整備は、森林法に基づき所有者が森林経営計画を立てることとしており、本市の計画面積は約980ヘクタールです。そのうち間伐等の整備済み面積は300ヘクタールで、今後整備が必要な面積は680ヘクタールです。整備の進捗は昨年2月の雪害処理を優先して行っている影響もあり計画より遅れている状況にあり

ります。

本市では平成25年3月に森林の再生と林業・木材産業の振興を目的とした「鹿沼市森林・木材活用プラン」を策定しました。その際、関係市民団体、林業・木工業団体などの代表者を中心とした策定懇談会が組織されています。今後は、この懇談会を市民会議的に活用して、市民の方々から森林再生等についての意見をいただきながら、プランの進行管理、見直し箇所の検証等を行い、森林荒廃の対策改善を図っていきたくと考えます。



赤坂日出男 議員

国民健康保険事業について伺う



**質 問**  
残薬問題に対する市の所見、取り組みについて伺う。

**答 弁**（保健福祉部長）  
正しい薬の利用等について啓発を図ります。

残薬は、被保険者のうっかりによる飲み忘れ、医療機関への重複受診・重複処方等で薬の量・種類が増えること等により生じると考えられます。重複受診・重複処方等に対する適正受診の指導は、国民健康保険事業の医療費適正化事業で対応しています。この事業では、国保連合会から提供される重複・多受診者一覧や電子レセプトの情報を元

に、健康課の保健師と共同で実施し、適正な医療機関への受診方法や服薬の方法について訪問を行い指導しています。

また、高齢受給者説明会で鹿沼薬剤師会に依頼し、薬に関する知識や正しい飲み方等の話をしていたいております。特に、うっかりによる飲み忘れ等による残薬は、被保険者が医師や薬剤師へ相談するという意識づけが大切と思われるので、保険証や高齢受給者証更新の際に、同封するパンフレットに正しい薬の利用の仕方やお薬手帳の活用等について掲載し、啓発を図っていきたくと考えています。



谷中 恵子 議員

学校教育環境整備について  
伺う



質 問

小中学校のホームページが現在閲覧できない理由、影響を伺う。

答 弁(教育次長) ー  
より良いホームページ環境への移行を支援します。

小中学校のホームページは、これまでウインドウズサーバー2003を使用してきました。この環境でのホームページ作成は、専門的な技術を要し、かつ更新の過程で教育委員会事務局を経由する必要があり手間や時間がかかっていました。そのサーバーが、7月14日にサポート終了となり、セキュリティの面等から維持が困難な状況となりました。

現在一部の学校を除き、ホームページの閲覧・更新ができない状態となっております。市のホームページに学校の基本情報を載せる等の対応はしていますが、学校からの情報提供に若干支障が生じていると考えています。

現在、一部の学校では、安価な民間のサーバーを借り、比較的容易に作成・更新ができるソフトウェアを利用してホームページを作成しています。一部の学校の取り組みも参考にしながら、費用の負担も含め、より使い勝手の良いホームページ環境に移行できるよう支援していきたいと考えています。



芳田 利雄 議員

新庁舎建設について伺う



質 問

新庁舎建設の財源に合併特例債を使う前提条件が崩れた以上、総事業費60億円の抜本的見直しをすべきと考えるがどうか。

答 弁(市長) ー  
庁舎の建設位置等の抜本的な見直しは現在のところ行いません。

60億円というのはあくまで上限なので、今後それらをいかに削っていくかということが重要なことと考えます。財源については、合併特例債が建設延期により、使えなくなることが予想されるので、計画的に「庁舎建設基金」の積み立てを行い、「か

ぬま・あわの振興基金」の活用等を検討していきます。

今後、基本設計を行う場合、建設単価の動向に留意しながら、建設の仕様の精査を初め、汎用材を多用することや、工事の効率化による工期の短縮等により削減を図っていく考えです。加えて本市で策定中の「公共施設等総合管理計画」における余裕スペースの活用等、整備規模の見直しを行い、総事業費の削減を図っていきますが、庁舎の建設位置等の抜本的な見直しは現在のところ行わないつもりです。



▲鹿沼市庁舎

人事

(敬称略)

■本会議で鹿沼市公平委員会委員に選任することに同意しました。

鹿沼市公平委員会委員 (議案第76号)

大貫 林一郎 (おおぬきりんいちろう・鹿沼市見野)

▶用語解説「公平委員会委員」

公平委員会は地方公共団体職員の身分及び権利を保障するために市町村等に設置される公正・中立な第三者の人事機関。3人の委員で構成される合議制の機関で、各委員は人格が高潔で地方自治の本旨及び民主的で能率的な事務処理に理解があり、かつ人事行政に関し識見を有する者のうちから議会の同意を受けて長が選任する。

■本会議で粕尾財産区管理会委員に選任することに同意しました。

粕尾財産区管理会委員 (議案第77号～82号)

川久保 守一 (かわくぼ もりいち・鹿沼市下粕尾)

柏崎 正雄 (かしわざき まさお・鹿沼市下粕尾)

若林 實 (わかばやしみのる・鹿沼市中粕尾)

鈴木 隆 (すずき たかし・鹿沼市中粕尾)

神山 昭 (かみやま あきら・鹿沼市上粕尾)

浅野 裕 (あさの ゆたか・鹿沼市上粕尾)

■本会議で清洲財産区管理会委員に選任することに同意しました。

清洲財産区管理会委員 (議案第83号～88号)

関口 眞弘 (せきぐち まさひろ・鹿沼市久野)

安生 衛 (あんじょう まもる・鹿沼市久野)

宇塚 一雄 (うづか かずお・鹿沼市深程)

和久井 一夫 (わくい かずお・鹿沼市深程)

平野 司 (ひらの つかさ・鹿沼市北半田)

関澤 秀吉 (せきざわ ひでよし・鹿沼市北半田)

▶用語解説「財産区管理会委員」

財産区とは、市町村および特別区の一部で財産を有し、または公の施設を設けているものがある場合に、その財産または公の施設の管理、処分に関し、特別地方公共団体として法人格を与えられたもの。

委員は、財産区の区域内に3月以上住所を有する者で市の議会の議員の被選挙権を有するものの中から市長が議会の同意を得て選任する。

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

請願書

件名 ○○○○について  
 要旨 ○○○○の△△に関する  
 ××を要望します。  
 理由 □□□□□□□□  
 □□□□□□□□  
 □□□□□□□□  
 □□□□□□□□

平成○年○月○日  
鹿沼市議会議長様

紹介議員 今宮 三男  
氏名 鹿沼 太郎

請願人代表  
鹿沼市○○町○○番地○  
鹿沼 太郎 印



認定1件、市長提出議案27件、議員提出議案1件が提出されました。  
議員数23名、表決参加議員数22名（議長は表決には加わりません。）

## 全議員が賛成

決算

### 認定1号 平成26年度鹿沼市水道事業会計決算の認定について

平成26年度の水道事業は、建設改良事業において新設・老朽管更新を含め延長1万4,238.4メートルの配水管布設で4億3,033万6,800円を支出し、建設改良費総額では7億263万1,335円の支出でした。

また、年度末の給水人口は7万9,500人で前年度比0.6%の増となり、年間給水量は909万9,456立方メートルで前年度比3.0%の減となりました。この結果、決算においては、収益的収支で当年度純利益2億2,672万9,698円となりました。

平成27年度補正予算

### 議案64号 平成27年度鹿沼市一般会計補正予算（第1号）について

歳入については、国県支出金及び諸収入の増額を計上し、歳出については、庁舎等施設整備事業費、住民基本台帳費、農地関係振興事業費等の増減額を計上したもので、この補正額を6,203万円の増とし、予算総額を418億1,203万円とするものです。

### 議案65号 平成27年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

歳入については、繰入金の増額を計上し、歳出については、国民健康保険事務費の増額を計上したもので、補正額を193万7千円の増とし、予算総額を126億7,853万7千円とするものです。

### 議案66号 平成27年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計補正予算（第1号）について

歳入については、繰入金の増額を計上し、歳出については農業集落排水管理事務費の増額を計上したもので、補正額を500万円の増とし、予算総額を2億1,460万円とするものです。

### 議案67号 平成27年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）について

歳入については、繰入金の増額を計上し、歳出については、介護保険事務費の増額を計上したもので、補正額を146万円の増とし、予算総額を73億2,776万円とするものです。

### 議案68号 平成27年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

歳入については、繰入金の増額を計上し、歳出については、後期高齢者医療事務費の増額を計上したもので、補正額を62万3千円の増とし、予算総額を9億4,332万3千円とするものです。

剰余金

### 議案63号 平成26年度鹿沼市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金17億7,036万579円のうち1千万円を減債積立金に、1千万円を利益積立金に、2億672万9,698円を建設改良積立金にそれぞれ積み立てるとともに、15億4,363万881円を資本金に組み入れるためのものです。



条例の一部改正

議案71号 鹿沼市職員の再任用に関する条例等の一部改正について

地方公務員等共済組合法等の一部改正に伴い、引用する法律の題名等を改めるためのものです。

議案72号 鹿沼市職員互助会条例の一部改正について

鹿沼市職員互助会の会員資格の見直し等をするためのものです。

議案74号 鹿沼市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

小規模保育事業所等に置く保育士としてみなすことができる職員に、准看護師を加えるためのものです。

議案75号 鹿沼市コミュニティセンター条例等の一部改正について

南押原コミュニティセンターの改築に伴い、所在地の変更及び南押原地区公民館の使用料を改定するためのものです。

条例の制定

議案70号 鹿沼市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の制定について

(14ページをご覧ください)

議案73号 鹿沼市千葉県三記念館条例の制定について

(14ページをご覧ください)

その他

議案69号 グランドフォークス市との友好都市の提携について

(14ページをご覧ください)

議案89号 栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について

平成27年10月1日から大田原地区広域消防組合及び黒磯那須消防組合を廃し、新たに那須地区消防組合が設立されることに伴い、栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数を減少し、及び同組合の規約を変更することについて関係地方公共団体と協議するためのものです。

議員提出議案

議員案6号 鹿沼市議会会議規則の一部改正について

女性議員が活躍できる環境を整備して議会を活性化し、よりよい住民サービスを実現するため、出産に伴う議会、委員会の欠席に関する規定を明確に設けるものです。

人事

議案76号 鹿沼市公平委員会委員の選任について

(11ページをご覧ください)

議案77号～議案82号 鹿沼市粕尾財産区管理会委員の選任について

(11ページをご覧ください)

議案83号～議案88号 鹿沼市清州財産区管理会委員の選任について

(11ページをご覧ください)



鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～友好都市協定の提携～

## グランドフォークス市と友好都市になります

■議案第69号 グランドフォークス市との友好都市の提携について

グランドフォークス市はアメリカ合衆国、ノースダコタ州にある都市です。平成5年から旧粟野町が交流をしており、合併後も交流が続き平成19年には「友好交流に関する覚書」に調印しました。現在では学生交換プログラム、ノースダコタ大学オーケストラ部との音楽交流等が行われています。粟野町との合併、グランドフォークス市との交流が10年目となる節目の年でもある今年「友好都市協定」を締結することになりました。締結後は、市民同士の様々な交流の進展、子ども達の外国への関心の高まり、国際感覚の習得が期待されます。



▲そば打ち体験をするグランドフォークス市の高校生

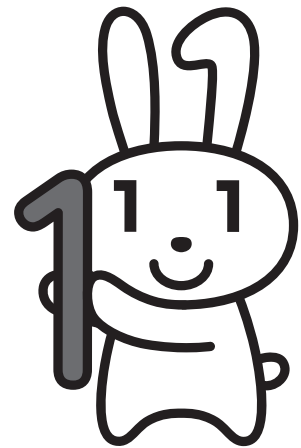
～一人ひとつの番号（12桁）が通知されます。～

## 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)が始まります

■議案第70号 鹿沼市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の制定について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の公布により、平成28年1月1日から社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）が始まります。個人番号（マイナンバー）は、国の行政機関や市町村等の複数の機関に存在する個人情報と同じ人の情報であることを正確かつスムーズに確認するための基盤であり、国民の利便性の向上や行政の効率化を図るとともに、公平・公正な社会を実現しようとするものです。

条例は、このマイナンバー制度の開始に伴い、本市においても「特定個人情報の利用」と「特定個人情報の保護」について必要な事項を定めるものです。



～南押原コミセンに記念館が併設されます。～

## 鹿沼が生んだ偉大な児童文学者と、その作品に触れてみませんか？

■議案第73号 鹿沼市千葉県三記念館条例の制定について

鹿沼市出身の著名な児童文学者である、千葉県三の遺品、著書、写真等の貴重な資料を展示する「鹿沼市千葉県三記念館」が、改築された南押原コミュニティセンターに併設されます。

千葉県三の作品の多くがコミュニティセンターのある楡木町周辺を舞台に描かれています。

新しい記念館では、千葉県三に関する資料等の収集、活用により、作品の普及啓発を図っていきます。



▲オープンに向けて準備がすすむ記念館

# 委員会等の活動報告

## 政策調査・研究委員会 (要旨)

政策調査・研究委員会は、議会基本条例に基づいて設置された委員会です。今回提言を行った「公契約」に関しては、「公共事業の発注に際して、市内業者に発注できる仕組みづくりができないか」ということで以前から議員の間でも議論のあったテーマです。調査、研究、前橋市への先進地視察、検証作業等、10回にわたり委員会を開催し、議論を重ねてきました。その後、現状に即した公契約の内容となるよう条例内容の検証を行い、市に提言するという結論に至りました。

提言1. 品質及び適正な履行の確保について

提言2. 公正労働基準の確保について

提言3. 地域経済の健全な発展について



## 全国市議会議長会からの表彰

長年の市政発展に貢献した功績により表彰されました。



大島 久幸 議員  
(議員15年表彰)



芳田 利雄 議員  
(議員35年表彰)



橋本 正男 議員  
(議員15年表彰)



赤坂 日出男 議員  
(議員15年表彰)



富久田 耕平 議員  
(議員15年表彰)



大貫 武男 議員  
(議員15年表彰)

## 議会改革調査特別委員会 (要旨)

平成25年12月20日に第1回委員会を開催し、10回に渡り委員会を開催し、5件の調査事項について議論を重ね検討しました。また、各調査事項について必要な情報収集をし議論を深め、当面の課題や緊急を要するものを中心に議長に報告しました。

### 1 議員定数について

議会の役割や仕事量が増大する中で、議員間の活発な討議ができる議員数として24名は必要であることから2名減が適当であるとの結論に達しました。本案件は、平成27年第1回鹿沼市議会臨時議会に提出し可決され、今年9月に任期満了により執行される鹿沼市議会議員選挙から施行されることになっています。

### 2 議員報酬について

委員会における協議の結果、削減することにより新たに議員を志す若手の意欲を削ぐことにならないが、議員としての身分保障の期間も短期的であり、積極的な議員活動のためにも増額が必要などの意見もあり、議員報酬については現状維持が適切との結論に達しました。

### 3 政務活動費について

委員会における協議の結果、政務活動費の執行率などを考慮し、月額2万5千円が適当であるとの結論に達しました。本案件は、平成27年第1回鹿沼市議会臨時議会に提出し可決され、本年4月1日より施行しています。

### 4 予算要望のあり方について

- ・ 議会として統一した要望をする。
- ・ 予算委員会を設置し、各常任委員会で取り組んでいる特定調査事件など、要望を2ないし3件に絞る。
- ・ 6月に執行部との話し合いを持ち、7月に要望書を提出する。
- ・ 11月に執行部からの中間報告を受け、意見交換を行い、2月に執行部からの回答を受ける。
- ・ 要望額については必要性があり、且つ確実な金額が出せるものについては要望額を記載する。
- ・ 政策要望は各会派で行う。

### 5 その他議会改革に関する事項

先例申し合わせ事項を、再検討し改正を行いました。



# 議会からの お知らせ

## 富山県高岡地区広域圏事務組合議会より行政視察

富山県西部の3市（高岡市、氷見市、小矢部市）で構成する高岡地区広域圏事務組合議会から15名の行政視察をお迎えしました。当組合は、圏域内の地域振興事業に取り組んでおり、その中でも婚活支援を人口対策、地域活性化の重要な施策と位置付けています。今回は鹿沼市の結婚対策事業、鹿沼市仲人会の視察を通し、今後の活動の参考にしたいとのことでした。

当日は、担当課である人権推進課以外に鹿沼市仲人会の皆さんにも参加していただきました。実際に地元で仲人をしていられる事務組合議員の方もおり、活発な意見交換が行われました。



## 次号（臨時号）で新議員を紹介します。

平成27年9月6日（日）に行われた鹿沼市議会議員選挙において24人の議員が選出されました。

新しい顔ぶれについては10月26日（月）発行の議会だより第189号臨時号で紹介します。

次の定例会は12月に開かれる予定です。会期日程等の詳細は、市議会ホームページまたは議会事務局（63-2203）へお問い合わせ下さい。



## 議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

11月	12月					
月	火	水	木	金	土	日
11/16	17	18	19	20	21	22
			10:00 議会運営委員会			
23	24	25	26	27	28	29
			10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明			
30	12/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問				
14	15	16	17	18	19	20
10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会		10:00 決算特別委員会	10:00 決算特別委員会		
21	22	23	24	25	26	27
	9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決					

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。（電話63-2203）

## 本会議の動画配信をしています。

動画配信サイトYOUTUBEで本会議の映像を録画配信しています。鹿沼市ホームページの「市議会」バナーより入り、ご覧になりたい内容をクリックしてください。



## 表紙の写真は

常楽寺（下粕尾）は、東国花の寺百ヶ寺の栃木6番札所、彼岸花の群生で有名な古刹です。最盛期は、参道が真っ赤に染まり、神秘的な美しさです。また、同時期にそばの花や萩の花も開花し、文字通り「花の寺」となります。